



「美術講演会／館長講座」開催のご案内

宇都宮美術館館長佐々木吉晴氏による「美術講演会／館長講座」を開催いたします。
参加自由ですので、どうぞお誘いあわせの上ご参加下さいますようお願いいたします。

演題 「エゴン・シーレ《家族》(1918年)を巡って」

オーストリアの画家エゴン・シーレ(1890-1918)は、猛威を振るったスペイン風邪の第二波で亡くなった。まだ28歳だった。2人の子を宿していた妻エーデイトが同じ病で亡くなったのはその3日前である。死の直前の作「家族」には、2人とともに、生まれてくるはずだった赤子も描かれている。そこにどんな意図があったのか。100年前のパンデミックや20世紀初頭のウィーンの美術界などを織り交ぜて、シーレと「家族」について概説する。



講師 佐々木吉晴氏(宇都宮美術館館長)

日時 令和3年5月15日(土)午後2時～3時30分(開場:午後1時30分)

場所 宇都宮美術館 講義室

定員 先着80名(申込み不要) 友の会会員以外の方も聴講できます。

主催 宇都宮美術館／宇都宮美術館友の会



お問い合わせ
宇都宮美術館／宇都宮美術館友の会
TEL 028-643-0100